

ENEOS海外渡航支援事業報告書（学会渡航）

2024年 7月 10日

工学部・工学研究科修士課程（どちらか〇で囲む）

所属学科・専攻・回生

建築学

学科

・専攻

修士2回生

氏名

津田 龍平

1. 参加期間 2024年06月30日から 2024年07月05日

2. 会場（開催国・場所・機関等）

18th World Conference of Earthquake Engineering (WCEE2024)

MICO Convention Centre, Milan, Italy 機関：ANIDIS, IAEE

3. 発表成果（概要）

イタリア・ミラノで開催された世界地震工学会で、世界遺産・元離宮二条城を対象に行った
常時微動計測について発表した。本研究の特徴的な点の1つは、設置が容易な無線センサーを
最大で25台用いて、城内のほぼすべての建造物に対して多点同時計測を行ったことである。

多点同時計測により、建物の固有周期や振動モードに加えて、耐震要素と揺れの関係や、複数の
棟が連結する建物の連成挙動の把握を可能とした。会場では質疑応答も含めて研究者と議論
を行うことができ、有意義な機会となった。また、自らの研究範囲にとどまらず、地震工学に
関する国内外の多数の研究発表を見て回り、当該分野の最先端の研究に触れることができた。

この度は、学会参加にあたって助成金による支援をいただき、誠にありがとうございました。

4. 奨学金の使途

学会参加費用・渡航費・宿泊費に使用した。